

議会改革調査 特別委員会

7月19日に開催された委員会では付議事件について最初の検討を行った。

議員定数について

意見 最適な定数について様々な角度で協議するのが重要と考える。

協議結果 定数の結論は、12月定例会までに出すこととした。

9月1日に開催された委員会では、課題整理シートを用いて、2回目の検討を行った。

議員定数について

意見 結論を導き出すため、常任委員会の委員数の検証が必要である。

タブレット端末の活用について
意見 導入後、段階的に活用範囲を広げ、普段の活動に使用できるようにすべきと考える。

意見 経費を検討すべきと考える。

政治倫理の確立について
意見 能代市議会議員政治倫理条例(以後条例)に規定している市民の審査請求権の人数等を検討すべきと考える。

意見 平成25年改正前の条例(旧第11条(市工事の請負契約等)に関する遵守事項等)の再考が必要と考える。

協議結果 議員定数は、課題の選定などのスケジュール案を検討することとした。タブレット端末の活用は、導入の方向性やその要件について検討することとした。政治倫理の確立は、条例で規定している人数等について検討することとした。

9月22日に開催された委員会では、前回の協議結果に基づき具体的な検討を行った。

議員定数について

意見 結論に至るまでのプロセスが重要だが、日程的に市民との意見交換の実施は厳しいと考える。

意見 具体的な定数案や、市民に決定への過程を示すため、常任委員会の委員数を先に協議すべきと考える。

タブレット端末の活用について
意見 「ロ」ナでのオンライン会議、議員の介護・育児休暇等も議論される中、今が導入を図るべき時期と考える。

政治倫理の確立について
意見 条例第4条の市民の審査請求できる人数50人以上に関し、有権者数等を考慮し少人数でもよいと考える。

意見 現状のままでもよいと考える。

意見 第5条の議員が審査請求できる人数12分の1(2人)以上は、3人以上がよいと考える。

意見 条例は議員自ら律することが本旨なので、第4条の人数要件を緩和することで、審査請求権を市民に委ねてはどうかと考える。

意見 旧第11条の再考してはどうか。

協議結果 議員定数は、常任委員会の在り方、現員数(19名)における議会運営の支障等を検討することとした。タブレット端末の活用は、最近導入した県内市議会等の財源も含めた状況を調査することとした。政治倫理の確立は、今回の意見について検討することとした。

(安岡明雄)

議長の主な動き

7月～9月

- ・日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会第51回秋田ブロック大会 in 能代
- ・能代山本広域市町村圏組合議会臨時会
- ・日吉神社例大祭 御神幸祭
- ・秋田県北部市議会連絡協議会
- ・正副議長・事務局長会議
- ・秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会

◎議長交際費については、「能代市食糧費及び交際費の閲覧に関する要綱」に準じて掲載しておりますが、7月～9月は対象となる交際費の支出がありませんでした。

主要要望活動

議長が9月3日に能代市長、能代商工会議所会頭とともに、東北電力株式会社能代火力発電所を訪問し、火力発電での新技術の確立及び実用化による脱炭素化に取り組みながら、能代火力発電所が長期に運転継続されるよう、同社のテレビ会議システムで樋口康一郎社長に要望しました。

議会の主な動き

7月～9月

- 7月8日 広報委員会
- 13日 会派代表者会議
- 19日 議会改革調査特別委員会
- 8月31日 会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 9月1日 議会改革調査特別委員会
- 7日 議会運営委員会
- 13日 本会議(一般質問)
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 本会議(付託)・決算特別委員会(主体会)
- 16日 決算特別委員会(分科会)・予算委員会(分科会)・各常任委員会
- 21日 議会基本条例策定特別委員会
- 22日 議会改革調査特別委員会
- 29日 決算特別委員会(主体会)・予算委員会(主体会)
- 30日 議会運営委員会
- 本会議(9月定例会閉会)